

【会計報告】

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]					
2020年度(1月1日から12月31日まで) 活動計算書					
	(単位:円)	参考:19年度	18年度	17年度	16年度
I 経常収益					
受取会費	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0
受取寄付物品	0	0	0	0	0
受取補助金・助成金	0	0	0	0	0
事業収益	30,371,801	33,977,949	32,834,827	39,117,406	40,695,625
うち、書籍販売および手数料収入	3,418,396	3,724,244	3,473,537	4,596,069	4,097,862
同 講師謝金および原稿執筆料など	23,881,165	29,778,147	29,361,290	31,149,211	36,600,118
うち、非営利組織マネジメント支援関連	19,531,938	27,087,147	17,839,650	22,682,637	26,931,909
同 環境・社会コミュニケーション関連	4,349,227	2,691,000	4,961,789	5,374,369	6,220,901
うち、「公益大家」家賃収入	3,021,200	433,813			
その他収益	3,297,350	41,745	53,225	60,910	7,974
雑収入、受取利息など	3,297,350	41,745	53,225	60,910	7,974
経常収益計	33,669,151	34,019,694	32,888,052	39,178,316	40,703,599
II 経常費用					
事業費	18,377,339	19,185,311	18,551,273	20,383,789	20,354,690
事業部門人件費※	12,160,000	12,160,000	12,179,608	13,168,124	12,093,679
事業部門福利厚生費※(退職金共済掛金含む)	133,397	122,046	200,772	198,282	215,172
外注費	4,263,776	2,944,718	1,969,703	2,152,401	2,624,590
荷造発送費	190,724	1,015	10,049	10,643	10,260
事業開催協力費・販売手数料	100,911	0	7,848	57,461	17,633
旅費交通費	1,061,650	3,314,491	3,608,415	4,144,379	4,458,896
「公益大家」物件 管理費	336,000	28,000	-	-	-
会議費(アドバイザーボード合宿など)	130,881	615,041	574,878	652,499	934,460
管理費	16,303,024	12,012,056	11,373,040	10,091,253	13,084,029
管理部門人件費※	2,560,000	2,560,000	4,100,000	4,100,000	4,100,000
管理部門福利厚生費※(退職金共済掛金含む)	28,083	25,694	67,586	61,737	72,947
通信費	407,869	533,098	603,176	560,430	746,343
電気料金	73,597	67,347	73,753	61,474	57,479
地代家賃	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000
支払手数料	5,205	70,073	4,320	4,761	5,166
諸会費	152,800	105,000	95,000	126,280	273,780
保険料	56,960	118,490	75,040	75,040	101,320
事務用品・消耗品費・広告費・雑費など	587,366	304,582	169,072	839,713	646,087
租税公課	3,999,400	2,907,300	2,112,300	741,900	2,923,600
所得税・消費税の予定・中間納税など	1,191,132	2,764,213	2,279,900	1,783,100	2,143,900
(注:個人事業のため源泉徴収税の総額を含む)					
新聞図書費	243,995	128,996	257,964	224,439	169,578
修繕費	0	61,160	94,929	72,379	403,829
減価償却費	5,556,617	926,103	-	-	-
雑損失	0	0	0	0	0
経常費用計	34,680,363	31,197,367	29,924,313	30,475,042	33,438,719
当期経常増減額	-1,011,212	2,822,327	2,963,739	8,703,274	7,264,880
当期正味財産増減額	611,605	8,757,463	2,508,336	8,944,786	8,493,029
前期繰越正味財産額	78,972,228	70,214,765	70,214,765	61,269,979	52,776,950
次期繰越正味財産額	79,583,833	78,972,228	72,723,101	70,214,765	61,269,979

20年度決算のトピックス(19年度までと対比して、主な変化をご紹介します。)

【書籍は微増、非営利マネジメント支援は研究成果実装・定着支援により増、SR支援は半減】

書籍は、「ソシオ・マネジメント」第9号・第10号・第11号刊行とともにオンライン研修のテキストとしても活用しましたが、直接販売機会の大幅減により前年比1割減。非営利マネジメント支援関連の講師報酬は、NPO主催や協働に関する研修、小規模多機能自治関連のご依頼件数も半減しましたが、COVID-19への対応に関する連続オンラインセミナーなどを運営協力させていただいたことなどにより、前年比3割減に抑えることができました。当方の困難にご配慮くださったみなさまに、厚くお礼申し上げます。このほか、環境・社会コミュニケーション関連は若干回復し、「公益大家」が通年稼働したこと、持続化給付金を受給したことなどから、経常収益は前年比1%減となりました。残念ながら21年度も減少が見込まれます。

【給与は昨年と同水準、賞与は標準水準で支給】

職員の給与は、担当業務に基づき決定しています。20年度も「基本業務」、「マネジメント支援」、「CSRコミュニケーション」、「書籍」の主要4業務の年間人件費を決定し、各人の担当内容により配分する原則の下で、昨年と同じ水準となるよう配分しました。賞与標準月数は年4か月とし、収入が例年を大幅に下回ったものの、業務量は例年通りだったため、夏季1.0・冬季3.0の計4.0か月としました。各人の支給月数の査定は、例年は全職員による360度フィードバックを行っていましたが、フルタイム勤務者が川北・棟朝の2名のみだったため、今年度も引き続き見送りました。

21年度も例年に比べて収入減が見込まれるものの、給与改定を5年間見送り続けてきたことから、賞与標準月数

は年間5か月をめざします。

20年度	川北	棟朝	参考:当初予算
基本業務(時間あたり、円)	—	1,000	4,100,000
マネジメント支援(同)	1,200	800	8,440,000
CSRコミュニケーション(同)	1,800	600	6,144,000
書籍(同)	200	150	3,140,000
特別プロジェクト(同)	—	—	0
時給 計	3,200	2,550	
月間時間数	160	160	
月給	512,000	360,000	
賞与(月)	4.0	4.0	
年間 計	8,192,000	6,528,000	14,720,000(実績)
参考:18年度支給額	8,192,000	6,528,000	14,720,000

【フリーキャッシュフローは発災時の業務継続・支援活動、「公益大家」開業、経営者の退職金積立に】

効率的な業務運営と堅実な経費管理の積み重ねにより、設立以来25年間でフリーキャッシュフローは7000万円余(18年末)と、3年弱相当に達しました。その利活用原則を15年度に従業員全員と協議し、①大規模災害時発生時の業務継続と支援活動の財源として2000万円程度(通年の半額相当)、②社会のセーフティネットを担うためのシェルターの取得費用の一部として2000万円程度(最適なスキーム確立時点で執行するまで継続して積み立て)、③退職金共済の対象外だった川北・棟朝について着任時に遡って月額3万円を無利子で積み立てすることを決議しました。19年度末時点では、「公益大家」物件購入と改修に5000万円強を拠出し、20年度末時点では川北・棟朝の退職金積立計1767万円、残る2000万円余を大規模災害発生時の業務継続と支援活動の財源としています。

【オフィス移転に際しての利益相反と、賃料決定の経緯について】

IIHOEは10年8月、代表者である川北の自宅移転に伴い、事務所も東京都中央区に移転いたしました。その際、事務所家賃の改定(値上げ)と、購入資金の一部の貸付という2つの利益相反事項について、当時の常勤・非常勤全職員に意見を求め、全員の同意を得た上で実施しました。

最終的に事務所家賃は周辺相場より安い月額12万円(礼金・敷金などはなし)とし、この140か月(11年8か月)分を先払いする形で川北に貸し付け、利息を含めて144か月(12年)分の家賃に充当することとしました。20年末までの家賃充当は125か月分(残り15か月分)となりました。

この家賃を川北に支払っていることから、川北は上記の給与・賞与の合計額以外に、年間144万円の家賃収入も、IIHOEから得ています。